

## 「Iasa 日本支部アニュアルカンファレンス 2021」

### 講演の主要テーマ 事前のご紹介

2021 年 10 月

Iasa 日本支部 梶川 哲生

シリーズで掲載している今回のコラムでは、来たる 2021 年 11 月 5 日に開催する **Iasa 日本支部主催「アニュアルカンファレンス 2021」** の講演の主要テーマと関連する背景等について先行してご紹介いたします。（Iasa 日本支部イベントのご案内 <http://iasajapan.org/annual-conf-2021.html>）

社会全体が本格的なデジタル活用と革新の時代を迎えつつある今日、DX の根幹を担う「アーキテクチャ」の理解とその取組み方如何で、DX の取組みを成功裡に継続的に具現化していけるのか、または、期待に反して成果が見えない取組みで終息してしまうのか、その分岐点となる重要な鍵を各方面で活躍されている講演者をお招きし、それぞれの立場でメッセージを発信して頂きます。本コラムでは、公開済みのイベント掲載情報を補足する形で各講演者のプロフィールと講演内容について紹介させていただきます。

#### 講演 1. なぜ EA が DX を加速するのか？

##### ～ DX の本質と EA による推進手法 ～

講演者： 山本 修一郎 様

最初に登壇頂く山本様は、現在名古屋国際工科専門職大学 情報工学科教授、及び、名古屋大学 名誉教授を担っておられます。ソフトウェア工学、要求工学、EA, DX などの研究に基づく独自の知見と経験をお持ちで、政府機関の数々の施策や委員会の DX 分野でのオピニオン・リーダーとしても活躍されています。（経済産業省のデジタルトランスフォーメーションに向けた研究会委員（2018 年）、デジタルトランスフォーメーションの加速に向けた研究会委員(2020 年)、その他多数の要職を歴任）

本講演では、山本様ならではの知見に基づいた DX の取組みに於いて共通する本質的な問いとその見解をご紹介します。最初の論点として、

#### ① DX でなぜ EA が必要なのか

- ・日本と世界の EA の違い
- ・デジタルケイパビリティとは何か
- ・ケイパビリティベースプランニングとは何か
- ・ダイナミックケイパビリティとは何か

についてお話し頂きます。この中で「ケイパビリティ」という言葉は日頃馴染みが薄い読者の方も多いかも知れません。ここでは、DX の取組みを通じてその成果を継続的に創出する上で重要な「企業や組織が持つ、全体的な組織的能力、あるいは、企業や組織が得意とする組織的能力」(Wikipedia)とご理解下さい。ケイパビリティについて DX の観点から山本様の展望は大変興味深いところです。

更に経営者の方々に最も関心のあると思われる DX 取組みの際の実際的な課題として、'DX 人材の育成', '儲かる DX' の論点に加え、現在世界的に関心が高まっている SDGs イニシアティブとの関連について、'SDGs との両立'は出来るのか、についても氏の見解をお話し頂きます。

### ② DX に取組む上での課題

- ・石垣型経営からジョブ型経営への移行をどうするか
- ・DX 人材の育成をどうするか
- ・儲かる DX をどうするか
- ・SDGs と DX をどう両立させるか

最後に、さらに詳しく探求されたい方向けに氏の著書の紹介の中でその内容と背景等も触れて頂ける予定です。

### ③ 著書『DX の基礎知識』(近代科学社 Digital) の紹介

山本様には DX の核心に迫る大変興味深いテーマと論点を取り上げて頂いております。是非当日の講演をご期待下さい。

## 講演 2. 「DX 時代における CX/UX の重要性と事例紹介」

～ 良い CX/UX、悪い CX/UX とは何か、その違いは利用者中心であるか否かに尽きる ～

講演者： エスディーテック株式会社 CEO 川端 一生 様

2 番目の講演は、エスディーテック株式会社 CEO 川端 一生 様にご登壇頂きます。川端様が 2015 年に創業されたエスディーテック社のホームページにはその企業理念として

『「Design Engineering」のプロフェッショナルチームです。デザインとエンジニアリングの分業ではなく、統合された「Design Engineering」により、長く愛される「ヒトとモノ」そして「ヒトとコト」のインターフェースを目指しています。』

と記載されています。(エスディーテック社 HP <https://www.sdtech.co.jp/>)

川端様の講演では、以下の要旨お話し頂きます。

『多くの IT システムの開発において、機能品質だけが追求され、利用時品質は着目されていない。この講演では、CX/UX のベースとなる利用時品質について解説し、利用者中心の開発を行うための考え方である「人間中心設計 (ISO9241-210)」の紹介と解説を行い、機能品質と利用時品質を高いレベルで兼ね備える IT システムを実現するために、上流の企画・設計フェーズにおいて、IT アーキテクトと CX/UX デザイナーがチームで取り組む必要性を解説する。』

講演では要所で事例も紹介頂けます。私達 lasa 関係者の気付きとしても、従来の EA の視点に加えて CX/UX もアーキテクチャの構成要素として捉え、その設計を意識的に行う事が DX にも必須である、と思っております。まさに「Design を Engineering する」が意味している事では無いでしょうか？ lasa 日本支部の掲載済みコラムで、EA と CX/UX の関連性について解説をした記事がありますので、こちらもお覧頂いておくと本講演の理解がより深まると思いますので是非こちらもお覧下さい。

[コラム \(vol.23\) DX 時代のエンタープライズアーキテクチャを考える～EA がビジネス変革と CX/UX をつなぐ！～](#)

### 講演3. 「BTABoKはアーキテクチャの実践にどの様に変化をもたらすか？」

～ ステークホルダー主導のアーキテクチャの実践のフレームワークBTABok～

講演者：lasaGlobal ファウンダー兼 CEO Paul Preiss 様 (英語による講演)

3番目の講演は、Paul Preiss 氏 (ポール・プライス氏) による講演です。プライス氏は、世界最大級のエンタープライズおよび IT アーキテクト協会である lasaGlobal のファウンダー兼 CEO です。(lasa 日本支部は、lasaGlobal の日本担当地区の支部になります)

lasa Global は、テキサス州オースティンにあった1つのユーザーグループから、2021年現在は25カ国以上に支部を持つ国際的な組織へと発展しました。プライス氏の創設時からの一貫したビジョンは、'効果的な教育、資格、倫理観を備えた世界で通用する 'アーキテクチャ専門職' を普及させ、企業の戦略と実現を支援する事'です。自らエンタープライズ・アーキテクトとしても活躍されており、企業の技術戦略の最適化の実践を通じて貢献しています。また、数百ものイベントで精力的に講演し、コロナ禍に置いても世界中のアーキテクトを対象としたカンファレンスやトレーニングを開催しています。

今回のプライス氏の講演の最大のトピックは、過去10年以上にわたり lasaGlobal が公開し改訂してきた 'ITABoK (IT Architecture Body of Knowledge / ITアーキテクチャ知識体系)' の名称とス

コープを変更し、**'BTABoK(Business and Technology Architecture Body of Knowledge / ビジネス&テクノロジー・アーキテクチャ知識体系)'**とリニューアルした事です。対象スコープをIT視点からビジネス視点も包含する内容に明示的に拡大した背景や理由、更に今後の展開についても本講演で紹介されますのでご期待下さい。

今回のプライス氏の講演の要旨としては、以下の内容をお話し頂きます。

『アーキテクトやアーキテクトチームの目標は、ビジネスや顧客に価値を提供することです。BTABoK(旧ITABoK)は、これを可能にする実際のツールとテクニックの大きな飛躍を指し示すと同時に、より成熟したアーキテクチャのプラクティスを開発しています。BTABoKは当初から、プロセスや単なる成果物ではなく、人を中心に設計されています。長い間待ち望まれていた3.0では、ビジネスとテクノロジーの両方の観点から価値を提供するために、アーキテクチャのプラクティス（チーム）を結びつけることができますようになります。これは、あらゆる規模の現代のビジネスにおいて絶対に必要なことです。』

また、以下の実践的な方法についての紹介があります。

- 企業のアーキテクチャ的に重要な要件からソフトウェアの最小単位の決定まで、設計上の意思決定を最大化する方法
- 最小限の努力で最大限のステークホルダー・サクセスを実現する方法
- 統合、リファレンスアーキテクチャー、フレームワークなど、あらゆるレベルのスコープでパターンを適用する方法
- 共通の価値観や信頼関係の問題に直面せず、成功するアーキテクチャ・チームを計画し、構成し、実現する方法

これらの実践については、フォーチュン 100 社の多くの企業で採用、適応され始めている事も付け加えておきたいと思います。

## 終わりに..

本項では、来たる2021年11月5日に開催する**lasa日本支部主催アニュアルカンファレンス2021**の3講演のテーマと関連する背景等について補足する形で紹介させて頂きました。

当日の講演は事前登録のみで無料でご参加いただけます。この貴重な講演の機会をご活用頂ければ幸いです。

- lasa日本支部イベントご案内：<http://iasajapan.org/annual-conf-2021.html>
- 注記：本コラムで紹介した講演要旨の補足内容と実際の講演内容が若干変わる場合があります。予めご了承下さい。

--- 終わり ---